

令和 2 年 8 月 4 日

会員 各位

埼玉県耳鼻咽喉科医会会長 谷本 秀司

新型コロナウイルス感染症対応下の診療所経営調査について（依頼）

標記について、新型コロナウイルス感染症による医業経営状況等を把握するため、（一社）日本臨床耳鼻咽喉科医会から別添のとおり依頼がございました。内容をご確認いただき、調査にご協力いただける場合は、事務局宛てにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

なお、本調査の回答先、回答期限は以下のとおりです。

記

1 回答先

日本医師会 保険医療部 医療保険課へ FAX または電子メールにて回答
（FAX：03-3946-6295 電子メール：hoken@po.med.or.jp）

2 回答期限

令和 2 年 8 月 2 0 日（木）

担 当：事務局 養田

電 話：048-824-2611

FAX：048-822-8515

メール：jibika@ikai.saitama.med.or.jp

都道府県耳鼻咽喉科医会

医会長 殿

(一社) 日本臨床耳鼻咽喉科医会

会長 福與 和正

日医からの診療所経営調査への協力依頼について

去る7月30日、福與会長、藤岡副会長、川嵯副会長の3人で日本医師会松本吉郎常任理事を訪問し、コロナ禍における耳鼻咽喉科診療所の窮状を訴え、日本医師会からの支援、協力を依頼してまいりました。

当日、さっそく事務方より添付のようなメールとともに経営状況の調査への協力依頼が参りました。

医師会全体として都道府県ごとに10~20の医療機関の調査が行われることになっていますが、このような調査対象の数では耳鼻咽喉科の状況が正確に反映されない可能性が大きく、我々の実情を認識してもらうためにはこの調査に協力してデータを提供することが重要と考えます。

また、今後、日本医師会と臨床医会が良好な協力関係を築いていくためにも、このような依頼に全力で協力する姿勢を示すこともまた重要と考えます。具体的には、大都市圏での影響が特に大きいと考えられますので、東京・神奈川・愛知・大阪・福岡においては10施設、その他の道府県では2施設、確実に調査に応じていただける会員に依頼して回答をしていただき、直接、日医に送付していただくよう手配をお願いします。ご面倒ですが、確実に回答が行われたかどうかの追跡調査もお願いします。

以上、医会長の皆様にはお忙しいところ恐縮ですがご協力いただけますようお願いいたします。

川崎先生

メールに失礼いたします。

日本医師会医療保険課 上原と申します。いつも大変お世話になっております。

松本常任理事の指示によりご連絡しております。

昨日、松本常任理事名で都道府県医師会
保険担当理事宛に標記調査の協力依頼をいたしました。

添付のPDF 文書です。

これまではレセプト件数・点数のデータをいただいておりますが、今回は4月から6月
までの損益状況の数字を調査いたします。

都道府県医師会当たり10～20施設のデータを集める予定ですが、小児科、耳鼻科の打
撃が大きいことから、別途、耳鼻科診療所のデータも加えたいと考えております。

収入や費用などの損益状況は会計士にお願いしないとなかなか出せるものではありませんが、医会として、可能な範囲で、会員診療所のデータを集めていただけないでしょうか？
本メールに調査票データも添付いたします。

もしご協力いただけるということでしたら、締め切りは8月20日となっておりますが、依
頼文書にあるとおりメールやFAXでご返送いただければ大変ありがたいと考えております。

ご検討のほど、よろしくお願いいたします。

--

上原 丈林

(社) 日本医師会 医療保険課

〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16

TEL 03-3946-2121(代) FAX 03-3946-6295

令和2年7月29日

都道府県医師会

社会保険担当理事 殿

日本医師会常任理事

松 本 吉 郎

(公 印 省 略)

新型コロナウイルス感染症対応下の診療所経営調査について

新型コロナウイルス感染症による医業経営状況等を把握するため、都道府県医師会のご協力の下、これまで令和2年4月診療分、5月診療分のレセプトデータや会員医療機関の具体的な状況について調査をさせていただきました。

調査結果につきましては、その都度、概要をまとめ、日本医師会定例記者会見で公表後、官邸をはじめ様々なところで医療機関が経営難になることで医療提供体制の崩壊が迫っている旨を訴える際に活用させていただいておりますこと、改めて感謝申し上げます。

第二次補正予算による医療機関や医療従事者への各種支援金が8月下旬より振り込まれる予定と聞いておりますが、それだけでは新型コロナウイルス感染症に対応で疲弊した医療機関に應えるだけの額には至っておりません。今後、スピード感を持って第二次補正予算の予備費の活用が必要と考えております。受診控えなどもあり、深刻化している医療機関の経営へさらなる支援を求めていると考えております。

つきましては、今般、日本医師会として、診療所経営調査を実施することとしました。診療科を考慮した上で、都道府県医師会ごとに10～20の医療機関の損益の状況等について、別添のアンケート調査を実施させていただきたく、ご連絡申し上げます。

現場の状況を早急に把握するための調査でありますので、可能な範囲でご回答いただければ幸いです。

なお、本調査は日本医師会総合政策研究機構（日医総研）で集計し、日本医師会の定例記者会見等で公表しますが、お答えいただいた情報は統計的に処理し、個々の医療機関名を公表することは一切ありません。

ご多忙のところ恐縮ですが、ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対応下の診療所経営調査の概要

1. 調査票

- ◇ 国に対し、医療機関の経営へさらなる支援を求めるため、会員医療機関（診療所）の基本情報、交付金申請の有無や融資申し込みの有無に加え、昨年と本年の4月から6月の損益状況についておうかがいするものです。診療科を考慮した上で少なくとも10～20施設のデータをいただけると幸いです。

2. ご回答方法

- ◇ 調査票（Excel 文書）を日本医師会文書管理システムの「お知らせ」に掲載いたしますので、ダウンロードして直接入力してください。紙ベースの場合は、調査票をコピーしてお使いください。ご回答は都道府県医師会でとりまとめの上、調査票の右上に連番を振ってください。
- ◇ 「6. 損益の状況」の各項目の記載要領は次ページのとおりで。可能な範囲で回答ください。

3. 調査期間（ご回答締め切り）

8月20日（木）

4. ご返送先

- ◇ メールに調査票（Excel 文書）を添付の上、下記アドレスに送付いただくか、調査票をファクシミリにてご返信ください。

メールアドレス：hoken@po.med.or.jp

ファックス番号：03-3946-6295

5. お問い合わせ先

日本医師会 保険医療部 医療保険課

《6. 損益の状況の記入要領》

医業収入＝Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ

- Ⅰ 保険診療収入：外来・在宅・入院医療における収入で支払基金・国保連等に対する請求金額及び窓口徴収金額の合計
- Ⅱ 公害等診療収入：公害・労災・自賠責などの金額の合計
- Ⅲ その他の診療収入：自費診療などの金額の合計
- Ⅳ その他の医業収入：学校医・産業医・当番医の手当、健診、予防接種、各種検診等の公衆衛生・地域医療活動などによる収入（個人が給与として受け取るものは対象外）

介護収入＝①＋②＋③

- ①施設サービス収入：短期入所療養介護を除く施設サービスに係る収入で国保連等に対する請求金額および利用者からの徴収金額の合計
- ②居宅サービス収入：短期入所療養介護、地域密着型サービス、居宅介護支援、介護予防サービスを含む居宅サービスに係る収入で国保連等に対する請求金額および利用者からの徴収金額の合計。通常の事業実施地域を越える送迎費や時間超過分の費用などの居宅サービスに係る保険外の利用料による収入についても合わせる
- ③その他の介護収入：文書料など上記科目に属さない介護収入

医業費用＝医薬品費＋診療材料費＋給与費＋その他経費

給与費＝給料（諸手当含む、非常勤含む）＋専従者給与（個人事業者）＋役員報酬（法人）＋賞与＋退職給付＋法定福利費

新型コロナウイルス感染症対応下の診療所経営調査

公益社団法人 日本医師会

医療機関名	
お問い合わせ先	

電話番号またはメールアドレスをご記入下さい。

医療機関名、お問い合わせ先は入力(記入)内容のご確認をさせていただく必要がある場合にのみ使用します。

1. 都道府県

都道府県名を入力(記入)して下さい→

2. 診療所区分

1 有床診療所 2 無床診療所 1か2を入力(記入)して下さい→

3. 開設区分(1つだけ選択して下さい)

1 個人 2 医療法人 3 その他

1～3のいずれかを入力(記入)して下さい→

4. 主な診療科(1つだけ選択して下さい)

- | | | | |
|--------|---------|------------|----------|
| 1 内科 | 5 耳鼻咽喉科 | 9 精神科 | 12 脳神経外科 |
| 2 外科 | 6 小児科 | 10 産科・産婦人科 | 13 その他 |
| 3 整形外科 | 7 皮膚科 | 11 婦人科 | |
| 4 眼科 | 8 泌尿器科 | | |

1～13のいずれかを入力(記入)して下さい→

5. 今回の新型コロナウイルス感染症に関連する交付金等を申請されましたか？

それぞれ「申請した」「申請予定」「申請していない」の該当箇所に「1」を入力して下さい。

	申請した	申請予定	申請していない
1 地域医療の確保に必要な診療を継続する医療機関への支援			
2 家賃支援給付金			
3 持続化給付金			
4 雇用調整助成金			

制度の詳しい内容は日医ニュース8月5日号をご覧ください。

日本医師会のホームページ「メンバーズルーム」にも掲載しています。

http://dl.med.or.jp/dl-med/kansen/novel_corona/seido/n1414-08_20200722.pdf

6. 損益の状況 数字をご記入下さい。千円単位でお願いします。

※暫定的な金額や按分等による概算額でも結構です。

(千円)

		4月	5月	6月
2019年 前年	医業収入			
	介護収入			
	医業・介護費用			
	うち給与費			
	医業利益			

医業利益=医業収入+介護収入-医業・介護費用

(千円)

		4月	5月	6月
2020年 今年	医業収入			
	介護収入			
	医業・介護費用			
	うち給与費			
	医業利益			

医業利益=医業収入+介護収入-医業・介護費用

7. 今回の新型コロナウイルス感染症に関連した融資についてお伺いします。

どのような融資があるかについては、「日医ニュース8月5日号」をご覧ください。

日本医師会のホームページ「メンバーズルーム」にも掲載しています。

http://dl.med.or.jp/dl-med/kansen/novel_corona/seido/n1414-08_20200722.pdf

融資の申し込みをされましたか？

1 した 2 する予定 3 していない

1～3のいずれかを入力(記入)して下さい→

8. 上記5.交付金等や7.の融資のような支援策は、貴院の資金繰り対策として

十分ですか？

1 十分 2 やや不十分 3 まったく不十分

1～3のいずれかを入力(記入)して下さい→

以上で、質問項目は終わりです。ご協力ありがとうございます。